



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日

上場会社名 フィード・ワン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2060 URL http://www.feed-one.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山内 孝史  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部 (氏名) 梅村 芳正 (TEL) 045-311-2300  
 財務経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	162,601	2.8	3,123	8.6	3,444	1.7	3,879	80.8
2018年3月期第3四半期	158,194	△0.0	2,874	△23.4	3,387	△13.0	2,146	△14.7

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 3,182百万円( 9.6%) 2018年3月期第3四半期 2,902百万円( △8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	19.70	—
2018年3月期第3四半期	10.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	92,638	35,545	37.9
2018年3月期	87,082	33,304	37.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 35,111百万円 2018年3月期 32,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	4.50	4.50
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,300	3.7	4,700	26.8	5,100	24.3	4,700	58.2	23.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	197,385,640株	2018年3月期	197,385,640株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	599,942株	2018年3月期	332,996株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	196,919,085株	2018年3月期3Q	197,053,515株

(注) 2019年3月期第3四半期の期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が保有する当社株式566,100株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年12月31日まで）のわが国経済は、自然災害による事業活動への影響も一段落し、雇用・所得環境の改善等を背景として緩やかな回復基調で推移したものの、米中間の貿易摩擦激化等もあり、依然として不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこしは天候不順による収穫の遅延もあり単収が下方修正され、需要も旺盛に推移したため、値を上げる展開となりました。大豆粕は米中間の貿易摩擦により米国産大豆の輸出が減少したこと等から値を下げております。

畜産物につきましては、豚肉相場、鶏卵相場ともに国内生産量の増加等による需給緩和のため大きく値を下げております。一方、牛肉相場は高値基調が継続しております。

こうした環境にあって、当社グループは、原料調達・生産体制の合理化、畜産・水産生産者へ供給する製品の品質・サービスの向上、コスト低減などに取り組んでおります。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,626億1百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は31億2千3百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益は34億4千4百万円（前年同期比1.7%増）となりました。また、事業ポートフォリオの最適化を目的とした資産売却に伴い特別利益を計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純利益は38億7千9百万円（前年同期比80.8%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりです。

#### 飼料事業

飼料事業では、原材料の値上がりによるコストアップ等があったものの、畜産飼料における販売数量の増加及び平均販売価格の上昇に加え、販売費及び一般管理費が減少したこと等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,224億2千3百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は43億5千4百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

#### 食品事業

食品事業では、鶏卵相場、豚肉相場が大きく値を下げて推移したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は381億7千8百万円（前年同期比7.7%減）となり、営業利益は2億9千4百万円（前年同期比50.8%減）となりました。

#### その他

特約店、畜産・水産生産者への畜水産機材等の販売のうち水産資材の販売が減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は19億9千9百万円（前年同期比2.5%減）となり、営業利益は2億3千9百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態を前期末と比べますと、原材料費及び製品の平均販売価格が上昇したこと等から受取手形及び売掛金並びに支払手形及び買掛金はそれぞれ増加しました。これらにより資産合計は926億3千8百万円（前期末比6.4%増）、負債合計は570億9千3百万円（前期末比6.2%増）となり、純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により355億4千5百万円（前期末比6.7%増）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、2018年5月11日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,805	3,336
受取手形及び売掛金	33,854	38,866
電子記録債権	1,408	1,632
商品及び製品	1,646	2,001
原材料及び貯蔵品	8,393	8,508
動物	453	282
その他	2,295	2,293
貸倒引当金	△115	△82
流動資産合計	50,742	56,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,268	6,706
機械装置及び運搬具（純額）	7,291	7,401
土地	7,109	6,865
リース資産（純額）	137	103
建設仮勘定	3,358	4,364
その他（純額）	652	576
有形固定資産合計	25,818	26,017
無形固定資産		
その他	388	360
無形固定資産合計	388	360
投資その他の資産		
投資有価証券	8,628	7,655
長期貸付金	510	470
破産更生債権等	1,156	1,066
繰延税金資産	214	680
その他	647	584
貸倒引当金	△1,024	△1,035
投資その他の資産合計	10,133	9,421
固定資産合計	36,340	35,799
資産合計	87,082	92,638

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,384	32,406
短期借入金	13,843	10,187
リース債務	50	40
未払法人税等	540	1,456
賞与引当金	781	330
資産除去債務	—	13
その他	6,023	6,412
流動負債合計	47,623	50,847
固定負債		
長期借入金	3,647	3,734
リース債務	96	70
繰延税金負債	83	15
役員退職慰労引当金	48	53
環境対策引当金	27	7
役員株式給付引当金	—	19
退職給付に係る負債	1,962	2,037
資産除去債務	39	6
持分法適用に伴う負債	—	53
その他	250	248
固定負債合計	6,154	6,245
負債合計	53,778	57,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	10,481	10,508
利益剰余金	11,452	14,445
自己株式	△38	△119
株主資本合計	31,895	34,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,166	468
繰延ヘッジ損益	15	△28
為替換算調整勘定	△103	△87
退職給付に係る調整累計額	△93	△75
その他の包括利益累計額合計	985	276
非支配株主持分	423	434
純資産合計	33,304	35,545
負債純資産合計	87,082	92,638

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	158,194	162,601
売上原価	140,060	145,142
売上総利益	18,134	17,458
販売費及び一般管理費	15,259	14,335
営業利益	2,874	3,123
営業外収益		
受取利息	12	14
受取配当金	142	157
持分法による投資利益	196	23
その他	334	357
営業外収益合計	687	552
営業外費用		
支払利息	110	92
その他	64	137
営業外費用合計	174	230
経常利益	3,387	3,444
特別利益		
固定資産売却益	49	1,948
投資有価証券売却益	27	328
補助金収入	—	2
事業分離における移転利益	—	11
特別利益合計	77	2,290
特別損失		
固定資産売却損	25	34
固定資産除却損	58	65
固定資産圧縮損	—	2
減損損失	88	79
子会社株式売却損	49	—
投資有価証券売却損	—	1
出資金評価損	—	24
災害による損失	—	22
工場閉鎖損失	43	112
特別損失合計	265	341
税金等調整前四半期純利益	3,199	5,393
法人税、住民税及び事業税	437	1,722
法人税等調整額	559	△219
法人税等合計	996	1,503
四半期純利益	2,202	3,890
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,146	3,879

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,202	3,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	639	△693
繰延ヘッジ損益	22	△44
退職給付に係る調整額	32	18
持分法適用会社に対する持分相当額	6	10
その他の包括利益合計	700	△708
四半期包括利益	2,902	3,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,846	3,171
非支配株主に係る四半期包括利益	55	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(役員向け株式交付信託)

当社は、第2四半期連結会計期間より、当社取締役(社外取締役を除きます。以下について同じです。)及び当社と委任契約を締結している執行役員(以下、総称して「取締役等」といいます。)を対象とする株式報酬制度「役員向け株式交付信託」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、取締役等の報酬として、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下、「本信託」といいます。)が当社株式を取得し、当社が定める「株式交付規程」に基づいて、各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式等が本信託を通じて交付されます。

また、本制度においては、2019年3月末日で終了する事業年度から2021年3月末日で終了する事業年度までの3事業年度の間在任する取締役等に対して当社株式等が交付されます。なお、当社取締役等が当社株式等の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。なお、「株式交付規程」に基づく当社取締役等への当社株式の交付に備えるため、当第3四半期連結会計期間における株式給付債務の見込額に基づき役員株式給付引当金を計上しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末の当該株式の帳簿価額は117百万円、株式数は566,100株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客に対する 売上高	114,762	41,381	156,144	2,050	158,194	—	158,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,107	4	1,111	294	1,406	△1,406	—
計	115,870	41,386	157,256	2,344	159,601	△1,406	158,194
セグメント利益	3,806	598	4,405	264	4,669	△1,794	2,874

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,794百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,799百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品事業」セグメントにおいて、連結子会社が保有する事業用資産の一部が遊休状態となったことに伴い47百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、報告セグメントに配分されない減損損失は、41百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客に対する 売上高	122,423	38,178	160,602	1,999	162,601	—	162,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	904	2	906	253	1,160	△1,160	—
計	123,327	38,181	161,509	2,252	163,761	△1,160	162,601
セグメント利益	4,354	294	4,648	239	4,887	△1,764	3,123

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,764百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,776百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品事業」セグメントにおいて、一部の連結子会社の事業を会社分割の方法により承継することを決定したことに伴い、74百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、報告セグメントに配分されない減損損失は、5百万円であります。